

ゴジュウカラ (学名: *Sitta europaea*)

[スズメ目 ゴジュウカラ科]



▲左1本が後趾、
右3本側が前趾

▲ゴジュウカラは趾(あしゆび)だけで木の幹にしっかりとしがみつく

ゴジュウカラは、集落の裏山から沼ノ平まで林内で見ることが出来ます。全長約 14 cmとスズメほどの大きさの鳥で、只見町には一年を通して生息しています。目に黒い過眼線があり、頭と背が灰色、のどから腹が白、脇腹が淡い橙色とシンプルな色合いです。繁殖期に

は、口笛で呼びかけるような「ピーー ピーー ピーー」や早口で「ピピピピピ」とよく通る声でさえずりをします。

枯れ木立の中を歩いていて、カサ、カサと軽い物音がしたら立ち止まってみましょう。小さな鳥が、垂直な幹の上を動き回っていたらゴジュウカラです。キツツキ類も幹に垂直にとまりますが、尾羽で体を支える点、趾(あしゆび)が前後 2 本ずつになっている点で特殊化しています。しかしゴジュウカラは、尾羽を使わず、趾は多くの鳥と同じく前 3 本、後 1 本で、後ろ趾とそのツメが発達しています。聞こえた物音は、ゴジュウカラが幹にツメを立てる音です。幹の上を回り歩きながら、ピンセットのような細くとがったくちばしを樹皮の隙間などに差し込み、昆虫やクモなどをつまみだして食べます。秋には「チー チー」と、か細い声で鳴きます。11 月は、木々が葉を落とすので、林にくらす小鳥類の観察にうってつけです。

企画展

「伝統を編む人々～只見町とボルネオ島と」

期間：2017年2月13日(月)まで ※開催中

ブナセンター講座

「豊かな熱帯林が支えるボルネオ先住民の暮らしと文化～ラタンのカゴ編みを通して～」

日時：12月10日(土) 13:30～15:00

講師：竹内 やよい(国立環境研究所)

町外展

「自然首都・只見」展 下郷町会津ジイゴ坂学舎

期間：11月9日(水)～20日(日) ※木曜定休日

時間：10:30～16:00(9日は12時開始、20日は15時終了)

会場：会津ジイゴ坂学舎(入場無料)

講演会

「只見町の自然と暮らし」

日時：11月13日(日) 13:30～15:00

講師：河原崎里子・遠藤菜緒子(只見町ブナセンター)

「自然首都・只見」に込められた思い

日時：11月19日(土) 13:30～15:00

講師：小沼 昇(只見町ブナセンター友の会代表・元只見町長)

鈴木 サナエ(只見町ブナセンター友の会副代表)

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください